

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 425

事務事業名	新幹線新大村駅(仮称)周辺整備事業
-------	-------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	都市計画課(新幹線まちづくり推進室)		
課長名	木村 政市	内線	158
担当者名	岩永 晃輔	内線	159

基本目標	050102	機能的で環境と調和したまち
政策		コンパクトで暮らしやすいまちづくり
施策		新幹線を活かしたまちづくり
関連施策		

会計	一般会計		
款	2	総務費	
項	1	総務管理費	
目	6	企画費	
事業コード	220300	新幹線新大村駅(仮称)周辺整備事業	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	新幹線駅、周辺施設及び乗換駅の利用者並びに地域住民		
意図	平成34年度の新幹線の開業に併せ、新幹線新大村駅(仮称)周辺整備として土地区画整理事業により、必要となる都市施設(アクセス道路・駅前広場)等新駅の周辺整備を行い、交通結節機能の充実を図るとともに、シンボル性を備え、環境に配慮した緑あふれる空間を整備し、利用者及び地域住民の利便性、快適性の向上を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画(公園) 実施設計(アクセス道路・駅前広場) 1式 社会資本整備等の図書作成 1式 土地区画整理基本設計 1式 事業認可資料等の作成 1式 物件補償調査 1式 新大村駅周辺景観デザイン検討会議 		
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 35 年度	実施方法	直営、補助

成果指標名	事業進捗率				算定式等 (過年度事業費/全体事業費)×100
着手前現状値	平成 22 年度	単位	%	0	
完了後計画値	平成 35 年度			100	

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
基本計画	実績・計画額	18,908	14,502					33,410	
	項目別進捗率	56.59%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
実施設計	実績・計画額		15,098	34,665	324,704	324,991	54,800	40,000	834,073
	項目別進捗率	0.00%	1.81%	5.97%	44.90%	83.86%	90.43%	95.23%	
用地・補償	実績・計画額	17,470			28,847	2,966,123	1,100,461	357,700	5,414,058
	項目別進捗率	0.32%	0.32%	0.32%	0.86%	55.64%	75.97%	82.57%	
建設工事	実績・計画額					68,309	448,709	967,654	3,496,598
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.95%	14.79%	42.46%	
事務費等	実績・計画額	744		1,509	58,257	6,443			66,953
	項目別進捗率	1.11%	1.11%	3.37%	90.38%	100.00%	100.00%	100.00%	
合計	実績・計画額	37,122	29,600	36,174	411,808	3,365,866	1,603,970	1,365,354	9,845,092
	項目別進捗率	0.38%	0.68%	1.05%	5.23%	39.42%	55.71%	69.58%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	5,844	29,600	36,174	411,808	3,365,866	1,603,970	1,365,354	9,845,092
国庫支出金			2,700	153,876	1,390,849	834,064	709,984	3,590,610
県支出金								
地方債				121,500	1,660,300	692,915	589,833	4,857,463
その他								
一般財源	5,844	29,600	33,474	136,432	314,717	76,991	65,537	1,397,019
② 人件費(千円)	14,574	17,814	34,893	69,195				B/C
職員人数(人)	1.63	2.15	4.15	7.65	区画整理補償調査	土地区画整理事業	土地区画整理事業	
時間外勤務(時間)	70	43	2349	5857	実施設計	車両基地駅整備	車両基地駅整備	
嘱託等人数(人)	0.80	0.80	0.50	1.00	車両基地駅実施設計・調査			
フルコスト(①+②千円)	20,418	47,414	71,067	481,003				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	九州新幹線西九州ルートは平成34年度開業予定である。開業までに利便性の高い新幹線新大村駅(仮称)周辺整備を行うため、昨年度、土地区画整理事業等の都市計画決定を行った。今年度は事業認可を目指し、事業のさらなる進捗を図る。
事業が抱える問題・課題等	土地区画整理事業により整備を行うため、予定区域内の地権者及び関係団体等と調整を図りながら進めていく必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新幹線整備事業は、本市のまちづくりの起爆剤となることが期待されることから新幹線駅周辺を整備し、来訪者及び市民の利便性を高め地域活性化につなげることが必要である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	平成34年度に開業予定であるため、本年度に土地区画整理事業認可を、平成29年度に仮換地指定を目指し、早急に進捗を図る必要がある。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新幹線駅周辺整備は、長崎空港から高速道路大村インターチェンジを結ぶ中間地点に位置し、高速交通結節点として重要な役割を担うものであるため、施策効果は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	必要最小限の算定・計上を行っており、削減の予定はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充	
--------	----	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成26年8月に策定した大村市新幹線新大村駅(仮称)周辺地域まちづくり計画の具現化のため、本年度の土地区画整理事業認可、平成29年度の仮換地指定を目指し、市民および関係機関と調整しながら、さらなる事業の推進を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	平成34年度の開業に向けて、市民等の意見を反映したまちづくり計画を具現化する新大村駅(仮称)周辺地区の整備が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。